

# 広島市安佐北区白木町大字三田字上大椿 における祝言のあいさつ

室山 敏昭

## ○はじめに

1. 対象地の地理的環境：広島市の中心部から東北へ16 kmほど入った山間の地に位置する。
2. 対象地の社会的経済的環境：まとまりのよい農業集落だが、農業に従事しているのは主に老年層で、青年層から中年層の大半は、広島市の中心部にある会社に勤務している。
3. 生業：主な産業は農業である。専業はごくわずかであり、ほとんどが広島市の中心部にある会社へ通勤している。農業以外にきわだった産業はない。
4. 交通：広島駅から芸備線が日に22往復ある。
5. 戸数、人口：戸数は30戸、人口は118人である。
6. 調査年月日：1990年12月27日 午後2時40分～4時10分
7. 方言話者：武井テルコ（大正2年12月10日生、78歳）、東トシエ（大正6年2月10日、74歳）
8. 調査者、調査場所：室山敏昭、竹内寿氏宅。
9. 調査方法：質問法によった。

## I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を待参した時、座敷で、その家の主人（新婦の父親）に向かって、どのようなあいさつをしますか。

○キョーワ エー オヒガラデ ガンシテ ノー。コノタビワ コレノ ムスメジョー  
ー ゴモシン イーマシテ マー ヨロシユー オネガイシマス。今日は良いお日柄でございましてねえ。この度は、お宅の娘さんを御無心を言ひまして、まあよろしくお願ひします。（老男 → 老男、試演）<上待遇><上品><かしこまり><稀><古風>

2. その家の主人（新婦の父親）は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

○コンニチワ ゴクロー カケマシタ。マー ツマラン ムスメジャガ ヨロシユータノミマス ヨ。今日は、御苦勞をかけました。まあ、つまらない娘だが、よろしく頼みますよ。（老男 → 老男、試演）<上待遇><上品><かしこまり><稀>

<やや古風>

3. その時の新婦のあいさつ

新婦はお茶を持って出るだけで、特にあいさつをすることはなかった。

II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。

○コレニャー オヨメサンガ コラレマスゲナ ノー。お宅には、お嫁さんが来られますそうですね。（老女 → 老男、試演）<上待遇><上品><ひかえめ><稀><やや古風>

2. 嫁をもらう家的人是、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○マー ウチニモ モラウ コトニ ナッタンデ ガン ヨ。ヨロシュー タノンマン ヨ。まあ、私の家にも（嫁を）もらうことになったのですよ。よろしく頼みますよ。（老男 → 老女、試演）<上待遇><やや上品><親しみ><稀><古風>

III. 嫁に出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことの決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

○アンタガタノ ムスメジョーワ ヨメサンニ イッテジャ ユーン ノ。お宅の娘さんは、嫁さんに行かれるそうですね。（老女 → 老女、試演）<上待遇><上品><ひかえめ><稀><やや古風>

2. 嫁に出す家的人是、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ダスユー ハナシワ アルンジャガ イキキルマジャー ワカリマヘン ヨ。（嫁に）出すという話はあるのだが、行ってしまいうまでは（どうなるか）分かりませんよ。（老女 → 老女、試演）<上待遇><やや上品><ひかえめ><稀><やや古風>

IV. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たち（親戚以外）は、どのようなあいさつをしますか。

1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

○コレニャー テマー モライナサッテ オメデトー ガンシタ。お宅にはお嫁さん（手間）をもらいなさって、おめでとうございました。（老女 → 老男、試演）<上待遇><上品><かしこまり><稀><古風>

1-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○テマー モライマシタケー ヨロシュー タノミマス ヨ。嫁をもらいましたから、よろしく頼みますよ。(老男 → 老女、試演) <上待遇><上品><かしこまり><稀><古風>

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

○コンニチャー オメデトー ガンス ノー。今日は、おめでとうございますねえ。(老女 → 老男、試演) <上待遇><上品><かしこまり><稀><古風>

2-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○マー ツマラン ムスメデスガ ヨロシュー オネガイシマス ヨ。まあ、つまらない娘ですが、よろしく頼みますよ。(老男 → 老女、試演) <上待遇><上品><へりくだり><稀><やや古風>

#### V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑はどのようなあいさつをしますか。

○テマー モライマシタケー ヨロシュー オネガイシマス ヨ。嫁をもらいましたから、よろしく頼みますよ。(老女 → 老女、試演) <上待遇><上品><へりくだり><稀><古風>

2. そのあいさつに答えて、近所の人にはどのようなあいさつをしますか。

○オメデトー ガンシタ。エー ヨメサンガ キテデ ガンシタ ノー。おめでとうございました。良いお嫁さんが来られましたねえ。(老女 → 老女、試演) <上待遇><上品><親しみ><稀><やや古風>

#### VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳代の父親へ、結婚式に招かれた50歳代の女性が、屋下がりの路上で、どのようなお祝いのあいさつをしますか。

○コナイダワ オメデトー ゴザイマシタ。エライ ゴチソーニ ナリマシテ。先日はおめでとうございました。たいそう御馳走になりました。(中女 → 初老男、試演) <上待遇><上品><ややかしこまり><稀><主に中年>

2. 父親は、それに答えて、どのようなあいさつをしますか。

○コナイダワ ゴテーネーニ オイワイドモ モローテ アリガトー ガンシタ。先日は御丁寧、お祝いなどいただいて、ありがとうございました。(初老男 → 中女、試演) <上待遇><上品><ややかしこまり><稀><主に老年>

## Ⅵ. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦の両親がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

○エー テマー ヨー セワー シテ ツカハッテ アリガトー ガンシタ。良い嫁をよく世話をしてくださって、ありがとうございました。(老男 → 老男、試演)  
<上待遇><上品><かしこまり><稀><古風>

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○エーヤンバイニ ヤローテデ ガンス カ。いいあんばいにやっておられますか。  
(老男 → 老男、試演) <上待遇><やや上品><親しみ><稀><やや古風>

## Ⅶ. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

○オトーサン オカーサン イカシテ モライマス。お父さん、お母さん、行かしてもらいます。(嫁 → 嫁ぎ先の親、試演) <上待遇><上品><へりくだり・かしこまり><稀><やや古風>

2. 両親は、それに応えて、どのようにあいさつをしますか。

○イッタラ オトーサンヤ オカーサンニ ヨロシユー ユーテ ツカーサイ ヨ。  
(実家に)行ったら、お父さんやお母さんによろしく言ってくださいよ。(嫁ぎ先の親 → 嫁、試演) <上待遇><上品><あらたまり><稀><主に老年>

以上が、上大椿の古老を中心とした老年層の間で交わされる「祝言のあいさつ」である。家の格や親疎関係によって、多少のゆれが認められるが、上に記述したものは、そのなかにおいて最も典型的なあいさつである。なお、「祝言のあいさつ」に関連することがらとして、戦前まで、結婚式の翌日早朝に、集落の子供達全員が嫁をもらった家を訪ね、「ヨメサン ミシテ ツカーサイ。」(嫁さんを見せてください。)と言って、ヨメサンからお菓子をもって帰るといふ風習があったということである。

(広島大学)